

# 関係町村における行政備蓄

- 緊急時に備え、関係町村では、食料及び生活物資等の備蓄を実施。万が一不足等が生じる事態となった場合、北海道が調整を行い、道内の全市町村や物資供給等に関する協定を締結している民間事業者等の協力を得て、食料及び生活物資等を融通・供給。

## 関係町村の生活物資の備蓄状況

備蓄物資種類	関係町村												
	とまりむら 泊村	きょうわちよう 共和町	いわないちよう 岩内町	かもえないむら 神恵内村	すつちよう 寿都町	らんにしちよう 蘭越町	ちよう ニセコ町	くつちやんちよう 倶知安町	しやこたんちよう 積丹町	ふるびらちよう 古平町	にきちよう 仁木町	よいちちよう 余市町	あかいがわむら 赤井川村
主食 (食)	9,900	5,800	2,650	2,290	1,507	1,600	3,814	3,045	5,278	1,750	3,220	2,143	827
副食 (食)	10,850	3,550	2,790	375	1,850	980	1,052	110	1,004	1,740	180	1,993	1,959
飲料水 (リットル)	4,344	1,000	2,016	480	2,712	120	1,590	840	1,188	1,164	1,395	1,842	365
毛布・寝袋 (枚・組)	1,770	1,610	461	245	590	300	510	700	340	570	377	1,096	151
トイレ													
簡易型 (台)	300	4	—	1	1	3	20	—	—	3	—	6	2
携帯型 (個)	—	2,800	—	—	6,000	—	—	1,500	2,011	5,100	3,802	2,300	600

※1: 主食: 乾パン、米、アルファ化米、クッキー、バランス栄養食、インスタント麺類、その他食料の合計値。副食: 缶詰、その他食料の合計値。

※2: 上記物資備蓄数は概数。また、上記の他に、常備薬、炊き出し用具等、避難生活に必要な物資等を準備している。

※3: 上記の数量は、令和2.4.1時点で関係町村が把握している数。

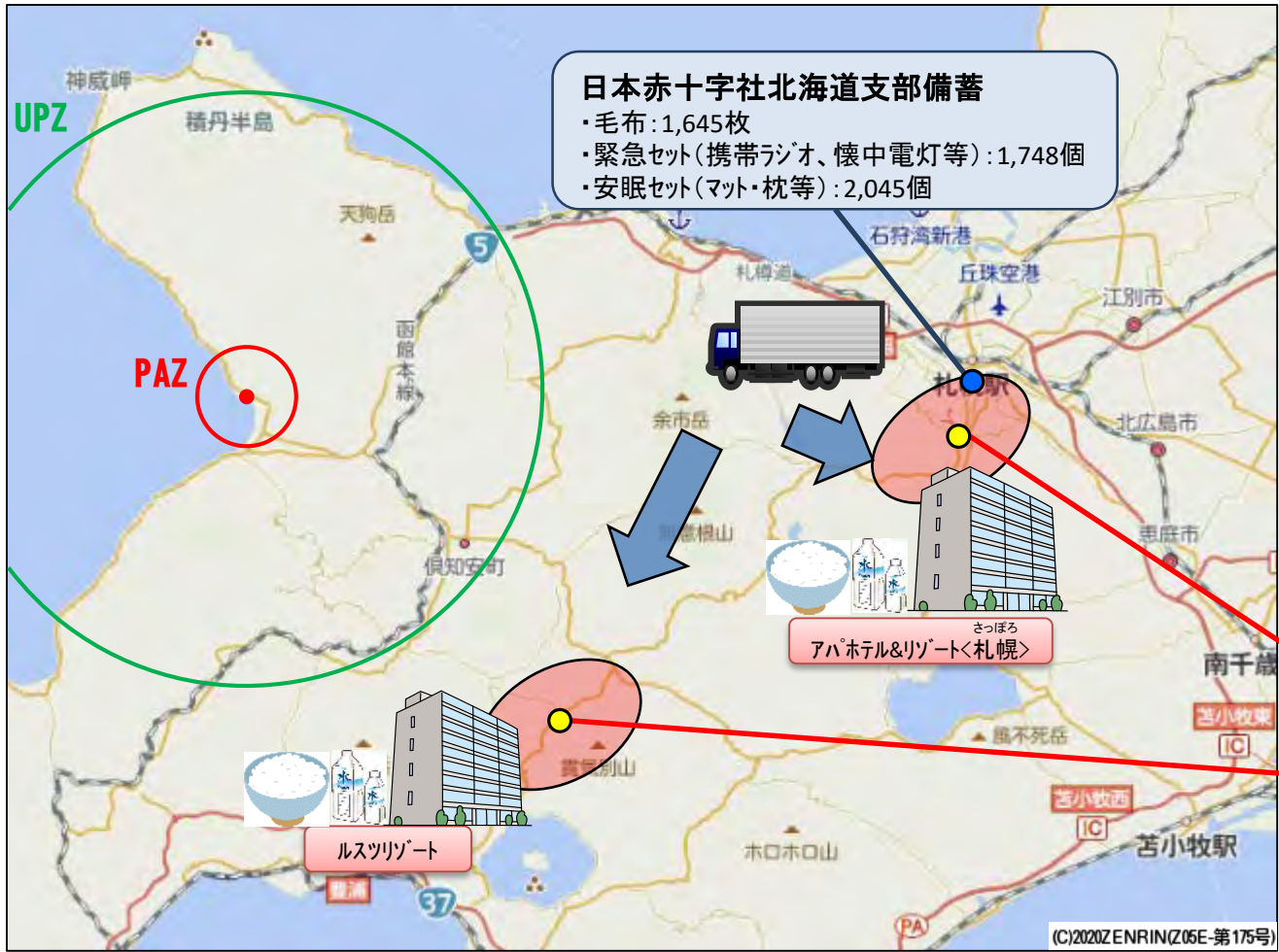
- 関係町村及び避難先市町村から物資支援の要請があった場合や要請を待ついとまがないと認められる状況になった場合に備え、北海道は、「災害時における物資の供給に関する協定」等を民間企業等と締結。

## 災害時における物資の供給等に関する協定の主な締結状況

協定の種類	内容	締結民間企業等
災害時における応急生活物資供給等に関する基本協定等	災害時における応急生活物資の供給等	北海道生活協同組合連合会、北海道コ・コーラボトリング(株)、(株)セイコ、(株)ローソン、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、サントリーフーズ(株)、イオン北海道(株)、DCMホームマック(株)、日糧製パン(株)、(株)北海道ファミリーマート、(株)ファミリーマート、NPO法人コムリ災害対策センター、コストコホールセールジャパン(株)、東日本段ボール工業組合
災害時における帰宅者支援に関する協定	災害時における帰宅困難者への情報提供等	(株)吉番屋、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)北海道ファミリーマート、(株)モスフードサービス、(株)ローソン、(株)ダスキン
災害応急対策用貨物自動車による物資の緊急・救援輸送等に関する協定等	災害発生時における緊急・救援物資等輸送	(公社)北海道トラック協会、北海道旅客船協会、北海道地区レンタカー協会連合会、全日本空輸(株)、日本航空(株)、(株)ジェイエア、日本内航海運組合総連合会、(株)AIRDO
災害時における石油類燃料の供給等に関する協定	大規模災害時において、緊急車両や災害対策上重要な施設等への優先給油及び被災者や帰宅困難者等への情報提供等	北海道石油業協同組合連合会

# PAZ内避難時の物資備蓄・供給体制

- PAZ内からの避難住民約2,720人の受入れ時には、避難先であるホテルから避難生活に必要な生活物資の提供を受けるとともに、北海道と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄と受入先自治体による備蓄のほか、日本赤十字社北海道支部に備蓄された物資(生活用品等)を、北海道トラック協会等の協力を得て、一時滞在場所及び避難先に搬送する。
- 北海道及び関係町村が備蓄している物資が不足する場合、北海道から、原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。



北海道の協定による流通備蓄  
(食料品、飲料水、日用品、衣料品 等)

	協定の種類	内容
北海道	災害時における 応急生活物資供給等に関する基本協定等	災害時における 応急生活物資の供給等

### PAZ住民避難先

避難元町村名	避難先施設名	避難受入人数
とまりむら 泊村	アパホテル&リゾート<札幌>	1,313人
きょうわちよう 共和町	ルスツリゾート	1,402人
<b>合計</b>		<b>2,715人</b>

※物資備蓄数については、R2.6.30現在。

# 物資集積拠点地域・一時集結拠点

- 物資供給の迅速性を高めるため、新千歳空港、丘珠空港、苫小牧港等の周辺に、国等からの物資を集積する物資集積拠点地域を設定。物資集積拠点地域において、地域のニーズ等を踏まえて必要な食料や物資を分別し、住民の避難先や一時集結拠点に輸送。
- 一時集結拠点では、物資集積拠点地域から輸送された物資をもとに、地域住民の状況を踏まえて物資を供給。あわせて、地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請を行う。
- 物資集積拠点地域・一時集結拠点は、必要に応じて防災業務関係者への災害関係情報の提供拠点としても活用。
- 物流専門家の派遣について、協定事業者等に要請し、より効率的に物資を供給。



## 物資集積拠点地域

(小樽港・石狩湾新港、丘珠空港・新千歳空港、苫小牧港、室蘭港周辺地域の4地域)

- ・避難・屋内退避住民に対する政府の供給食料・物資の集積
- ・ボランティア団体等による食料・物資の集積
- ・緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材の集積
- ・避難住民への食料・物資の供給
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等

## 一時集結拠点

(後志地域の7拠点)

- ・屋内退避住民への食料・物資の供給
- ・緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材の供給
- ・地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請
- ・原子力災害対策重点地域への入域に必要な情報提供等
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等

## 物流専門家の派遣

- ・協定事業者から道災害対策本部や物資集積拠点に派遣
- ・物資の保管や、荷さばき等に対する助言・指導